

山梨県立大学バイアウト実施に関する取扱規程

(令和3年8月10日制定 大学3110号)

(趣旨)

第1条 この規程は、競争的研究費により研究を実施する山梨県立大学（以下「本学」という。）の教員が、バイアウトを利用して研究に従事する時間を確保することができるよう、その要件等について必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) バイアウト 競争的研究費の直接経費を財源として研究以外の業務の一部を代行させるための経費の支出をいう。
- (2) 資金配分機関 競争的資金制度を直轄する国の府省及び研究資金の配分を行う独立行政法人をいう。
- (3) 競争的研究費 資金配分機関がバイアウトを認めた競争的研究費をいう。
- (4) 研究代表者等 競争的研究費を獲得した研究代表者又はその分担者をいう。

(バイアウト可能な業務及び利用の範囲)

第3条 バイアウトを利用することができる業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 本学において研究代表者等が担当する授業科目（連携開設科目を除く。以下単に「授業科目」という。）の非常勤講師による代行
 - (2) 授業科目における授業補助者の配置
- 2 バイアウトにより支出することができる経費は、非常勤講師及び授業補助者に係る人件費並びに業務に付随する諸費用とする。ただし、資金配分機関が認めたものに限る。
- 3 第1項の規定によりバイアウトを利用することができる時間数は、当該研究代表者等が年間に担当する授業科目の時間数の100分の30以内とする。

(バイアウトの手続)

第4条 バイアウトを申請する者（以下「申請者」という。）は、バイアウト申請書（様式第1号）を、申請者が所属する学部又は研究科の長（以下「学部長等」という。）に提出し、学部教授会又は研究科委員会の審議を経て、バイアウトを予定する年度の前年度10月末までに学長に提出しなければならない。この場合、バイアウトの申請時には、財源となる競争的研究費が確保されていなければならない。

2 学長は、前項の申請があった場合、当該申請の承認又は不承認を決定する。この場合、金額又は期間の変更等の条件を付して承認することができる。

3 学長は、前項の決定を申請審査結果通知（様式第2号）により、学部長等を通じて申請者に通知する。

(代行者の選定等)

第5条 代行者の選定は、申請者が推薦し、学部若しくは研究科又は教育委員会が通常実施する手続により行う。

2 代行者に係る経費の算定は、公立大学法人山梨県立大学有期雇用教職員就業規則（平成22年法人第3202号）別表第2に定めるところによる。

(業務の制限)

第6条 研究代表者等は、バイアウトにより確保された研究時間を、当該経費を支出した研究に充当し、それ以外の業務に充ててはならない。

2 研究代表者等がバイアウトの実施期間中に行う他大学の非常勤講師等の兼業については、公立大学法人山梨県立大学教職員兼業規程（平成22年法人第4105号）第4条（兼業の許可）又は第8条（兼業の許可の取消し等）に定めるところによる。

(業務運営の報告)

第7条 学長は学部長等及び申請者に対し、代行業務の実施状況、当該研究業務の進捗状況等を報告させ、必要に応じて、代行業務の変更又は中止を命じることができる。

(実績報告)

第8条 バイアウトを行う研究代表者等は、バイアウトによって得られた研究上の効果をバイアウト結果報告書（様式第3号）により、学長に報告する。

(責任)

第9条 バイアウトを行う研究代表者等は、バイアウトの実施による学部又は研究科等の業務負担に対し、十分な責任と自覚を持って、真摯に研究に取り組まなければならない。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、バイアウトの実施に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、令和3年8月10日から施行する。

学長 殿

所 属
職氏名

印

バイアウト申請書

このことについて、山梨県立大学バイアウト実施に関する取扱規程第4条第1項に基づき、以下のとおり申請いたします。

1 バイアウトの実施年度

〇〇年度

2 バイアウトする競争的研究費

種類	種目	課題番号	課題名	研究期間
				～

3 バイアウトの詳細

裏面に記載

学部長等記載欄

年 月 日

上記申請は 1 相当（申請のとおり）

2 相当（一部変更の必要あり）（変更点： ）

3 不適（理由： ）

※いずれかに○を付す。2の場合は変更点、3の場合は理由を記載。

〇〇長 氏名

印

【裏面】 バイアウトの詳細

	申請者が担当する開講科目			バイアウト対象科目	バイアウト経費の算定					その他付随する費用
	開講科目名 (全て記載) (A)	コマ数 (B)	時間数 (C)	対象 (○を付す) (D)	コマ数 (E)	時間数 (F)	非常勤講師・授業補助者の別 (G) (○を付す)	単価 (H)	支出予定額 (I) (=F×H)	交通費等必要な諸費用があれば記載 (J)
1		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
2		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
3		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
4		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
5		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
6		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
7		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
8		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
9		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
10		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
11		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
12		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
13		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
14		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
15		コマ	時間		コマ	時間	非常勤講師・授業補助者	円	円	
全ての開講科目の時間数合計 (K)			時間	バイアウトする時間数合計 (L)		時間	支出予定額合計 (M)		円	
バイアウトする時間数の割合 (L/K)						%				

号
年 月 日

殿

学長

バイアウト申請審査結果通知

令和 年 月 日付けで申請のあったバイアウトについては以下のとおりとする。

1 決定結果

承認 不承認 条件付き承認 ※いずれかに○を付す

2 条件付き承認における条件と理由

以上

年 月 日

学長 殿

所 属

職氏名

印

バイアウト結果報告書

令和 年 月 日付け梨 第 号バイアウト申請審査結果通知にて承認されたバイアウトにより得られた研究上の効果について以下のとおり報告します。

1 バイアウトによって得られた研究上の効果

以上

確認欄		
学長	事務局担当	学部長等